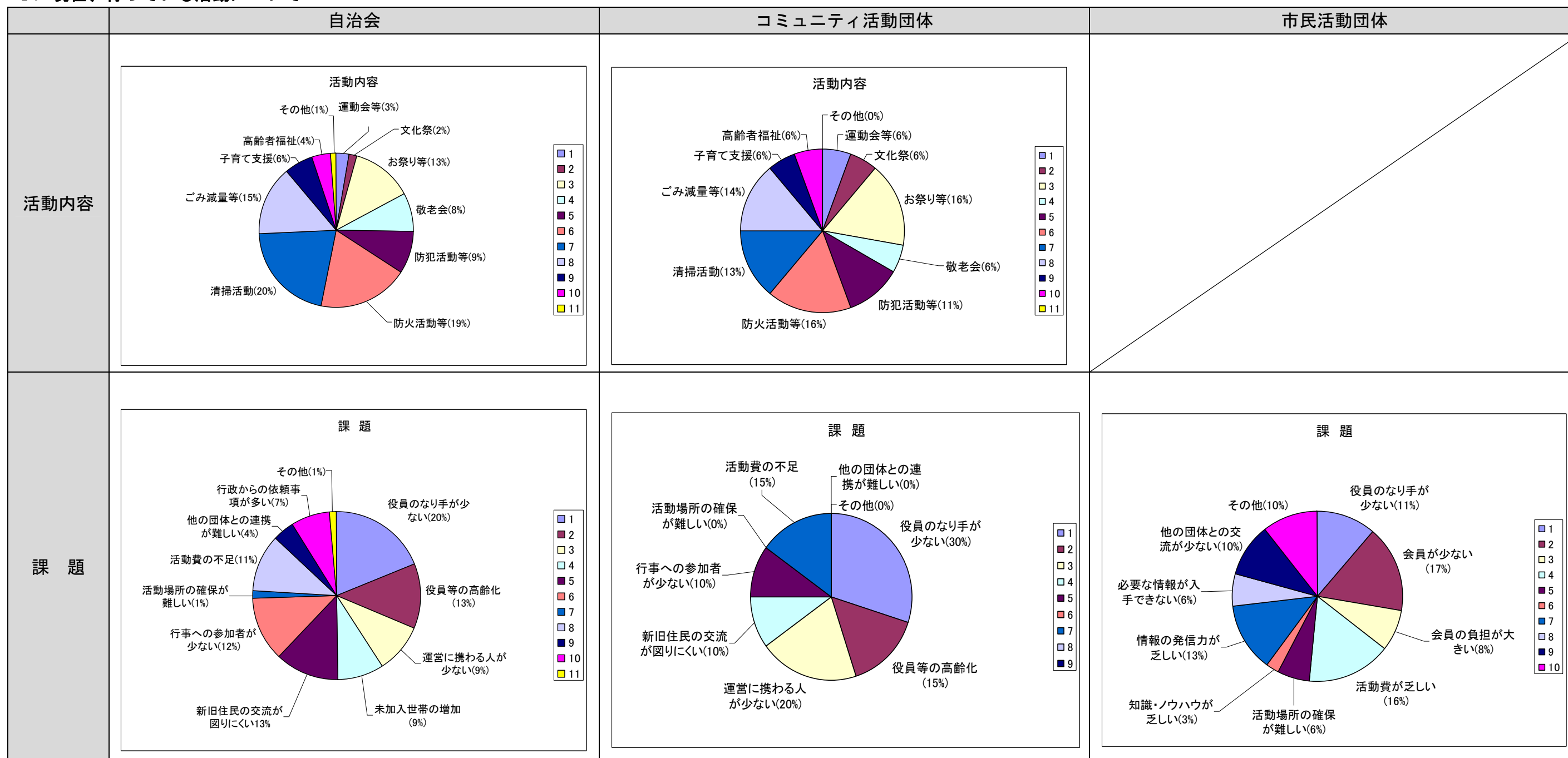


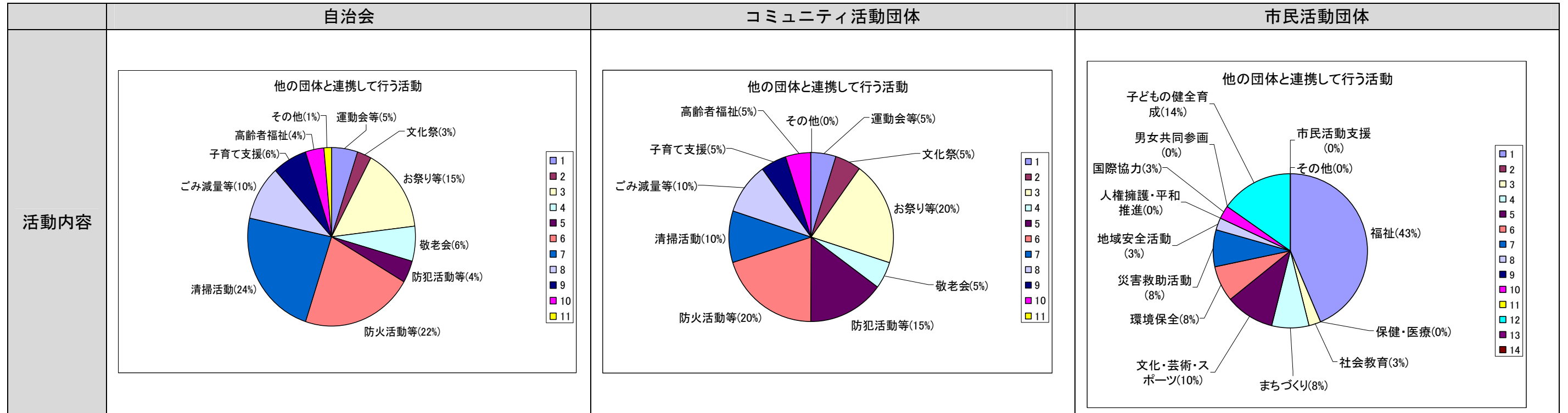
自治会活動、コミュニティ活動、市民活動に関するアンケート結果の概要

I. 現在、行っている活動について



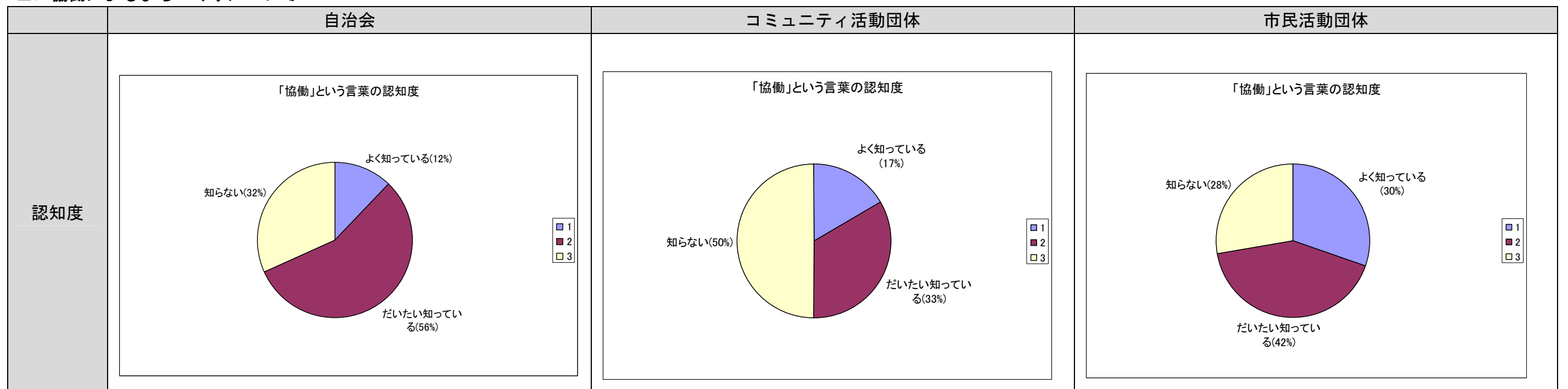
活動や運営にあたっての課題としては、いずれの団体も「役員のなり手が少ない」が多く挙げられている。また、自治会、コミュニティ活動団体では「役員・会員の高齢化」や「運営に携わる人が少ない」が上位に挙がり、市民活動団体では「会員が少ない」など、どの団体も人的課題が上位を占めている。また、「活動費の不足」についても共通の課題として挙げられている。

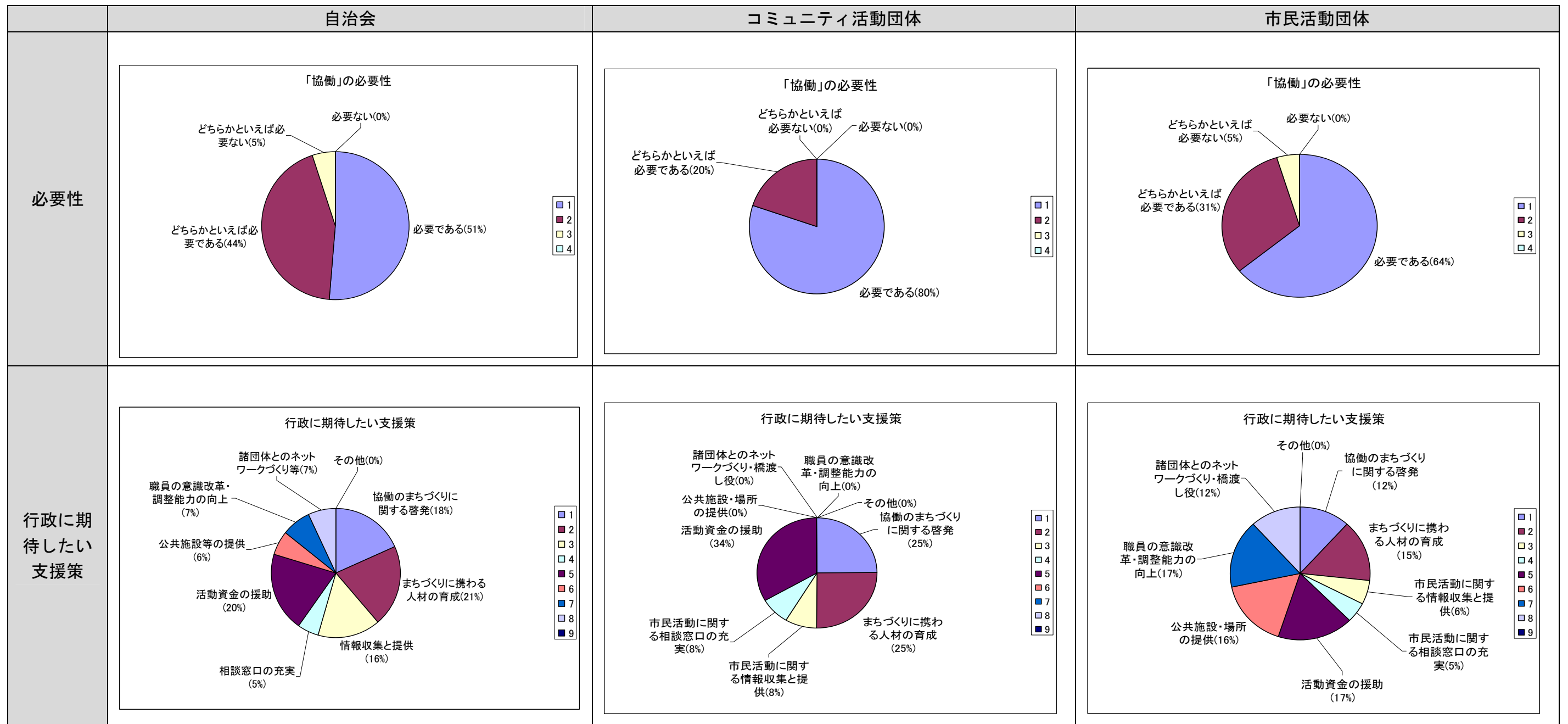
II. 他の団体と連携して行う活動について



自治会、コミュニティ活動団体では、「防火・防災活動」、「清掃等の美化活動」に他の団体と連携して取り組んでいることが伺える。市民活動団体では、福祉分野のボランティア団体が多数だったことから、「福祉」分野の活動が大勢を占めている。次いで、「子どもの健全育成」、「文化・芸術・スポーツ」活動が多く挙げられている。

III. 協働によるまちづくりについて





「協働」という言葉の認知度については、「よく知っている」、「だいたい知っている」をあわせると、かなりの方が「知っている」と答えている。また、必要性については、いずれの団体でも「必要である」、「どちらかといえば必要である」が大勢を占めている状況である。

なお、行政に期待したい支援策としては、いずれの団体も「活動資金の援助」を最も多く、次いで「まちづくりに携わる人材の育成」、「協働のまちづくりに関する啓発」が上位を占めている。市民活動団体では、「公共施設・場所の提供」も多く挙げられている。